

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicants: H. Hirai et al. : Art Unit:
Serial No.: To Be Assigned : Examiner:
Filed: Herewith :
FOR: COMMUNICATION :
TERMINAL AND FACSIMILE

CLAIM TO RIGHT OF PRIORITY

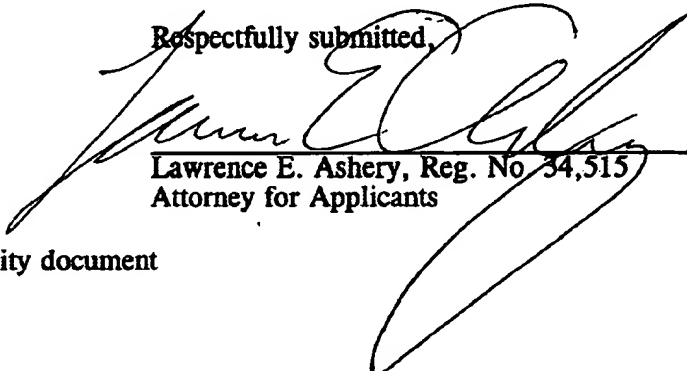
Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

S I R :

Pursuant to 35 U.S.C. 119, Applicants' claim to the benefit of filing of prior Japanese Patent Application No. 2000-146560, filed May 18, 2000, is hereby confirmed.

A certified copy of the above-referenced application is enclosed.

Respectfully submitted,


Lawrence E. Ashery, Reg. No. 34,515
Attorney for Applicants

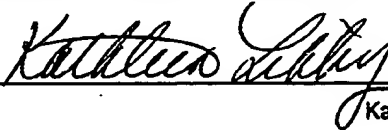
Encl.: (1) certified priority document
Dated: May 15, 2001

Suite 301
One Westlakes, Berwyn
P.O. Box 980
Valley Forge, PA 19482-0980
(610) 407-0700

The Assistant Commissioner for Patents is hereby authorized to charge payment to Deposit Account No. 18-0350 of any fees associated with this communication.

EXPRESS MAIL Mailing Label Number: EL 835671096 US
Date of Deposit: May 15, 2001

I hereby certify that this paper and fee are being deposited, under 37 C.F.R. § 1.10 and with sufficient postage, using the "Express Mail Post Office to Addressee" service of the United States Postal Service on the date indicated above and that the deposit is addressed to the Assistant Commissioner for Patents, Washington, D.C. 20231.


Kathleen Libby

1111 0190 W

BEST AVAILABLE COPY
日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

cc821 U.S. PRO
09/855270
05/15/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 5月18日

出願番号
Application Number:

特願2000-146560

出願人
Applicant(s):

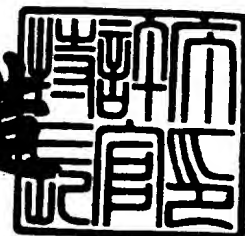
松下電器産業株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 4月13日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3030405

【書類名】 特許願

【整理番号】 2913020514

【提出日】 平成12年 5月18日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式
会社内

【氏名】 平井 広彦

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式
会社内

【氏名】 西ヶ野 政宏

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100097445

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩橋 文雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100103355

【弁理士】

【氏名又は名称】 坂口 智康

【選任した代理人】

【識別番号】 100109667

【弁理士】

【氏名又は名称】 内藤 浩樹

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011305

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9809938

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ファクシミリ装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 原稿上の画像を入力するためのスキャナと、
メモリーカードを挿抜可能でかつ、メモリーカードから画像データを読み込み可能な手段と、

ダイヤル等の操作を行う操作手段と、
画像情報を通信回線を介して送受可能なデータに変調及び復調するモデムと、
メモリーカードから読み取った画像データをファクシミリ送信可能なデータフォーマットへ変換する画像データフォーマット変換手段と、

メモリーカードから読み取った画像データに対応する画像情報並びに通信回線を介して受信した画像データ並びに前記スキャナから読み取った画像を共に印刷可能なプリント手段と、を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 2】 原稿上の画像を入力するためのスキャナと、
メモリーカードを挿抜可能でかつ、メモリーカードから画像データを読み込み可能な手段と、

ダイヤル等の操作を行う操作手段と、
画像情報を通信回線を介して送受可能なデータに変調及び復調するモデムと、
メモリーカードから読み取った画像データをファクシミリ送信可能なデータフォーマットへ変換する画像データフォーマット変換手段と、

メモリーカードから読み取った複数の画像データに対応するサムネイル画像の一覧を印刷可能なプリント手段とを備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 3】 原稿上の画像を入力するためのスキャナと、
メモリーカードを挿抜可能でかつ、メモリーカードから画像データを読み込み可能な手段と、

ダイヤル等の操作を行う操作手段と、
画像情報を通信回線を介して送受可能なデータに変調及び復調するモデムと、
メモリーカードから読み取った画像データをファクシミリ送信可能なデータフォーマットへ変換する画像データフォーマット変換手段と、

メモリーカードから読み取った画像データに対応する画像情報並びに通信回線を介して受信した画像データ並びに前記スキャナから読み取った画像を共に印刷可能なプリント手段と、

メモリーカードから読み取った複数の画像データに対応するサムネイル画像を印刷動作に先立って表示可能なディスプレイ手段と、

このディスプレイ手段に表示されたサムネイル画像を指定することでそのサムネイル画像に対応した画像を前記プリント手段を制御して印刷させるよう制御する制御手段を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 4】 画像データフォーマット変換手段は、デジタルスチルカメラにてメモリーカードに記憶された画像情報の対応するフォーマットを、ITU-T T. 81 規格に準拠したフォーマットに変換するものであることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 に記載のファクシミリ装置。

【請求項 5】 サムネイル画像の一覧を印刷した後、指定のサムネイル画像に対応した画像を印刷するモードと、サムネイル画像をディスプレイ手段に表示した後、サムネイル画像の一覧を印刷することなく指定のサムネイル画像に対応した画像を印刷するモードとを設定可能であることを特徴とする請求項 3 に記載のファクシミリ装置。

【請求項 6】 画像データフォーマット変換手段は、デジタルスチルカメラにてメモリーカードに記憶された画像情報の対応するフォーマットを、ITU-T T. 81 規格に準拠したフォーマットに変換する機能と、デジタルスチルカメラにてメモリーカードに記憶された画像情報の対応するフォーマットを、MH（モディファイドハフマン）符号に変換する機能の双方を有し、操作者の操作により前記変換機能の何れかが選択可能であることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 に記載のファクシミリ装置。

【請求項 7】 メモリーカードは、SD（Secure Digital）メモリーカードであることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 に記載のファクシミリ装置。

【請求項 8】 画像データフォーマット変換手段は、TIFF の JFIF フォーマットの JPEG 形式の画像データを、ITU-T T. 81 規格に準拠したフ

フォーマットに変換するものであることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 に記載のファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、イメージデータを送受信可能なファクシミリ装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

一般に用いられているファクシミリ装置は、送信したい画像をスキャナにて操作し、イメージ情報を取り込んで、その画像を送信したり、あるいは、そのようにして送られてきた画像を受信するだけのものであった。

【0003】

一方、スチルカメラとしては銀塩写真にとって代わるものとして、また、PC への画像入力機としてデジタルスチルカメラが登場し、その静止画像の保存手段として各種のメモリーカードが利用されている。そして、この静止画像が記録されたメモリーカードを PC に接続したメモリーカードリーダー・ライターに挿入し、読取処理を行うことで、PC に取り込むことができるのである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

上記したように、従来のファクシミリ装置は画像が記載された原稿をスキャナを介して読み取り、送信するだけのものであり、例えば上述したデジタルスチルカメラで撮影した画像を送信することはできなかった。そこで、本発明は、デジタルスチルカメラで撮影した画像を良好な画質で容易に送信することができ、かつ、ファクシミリ装置が備えているプリント手段を利用して出力したりすることができるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため本発明のファクシミリ装置は、原稿上の画像を入力す

るためのスキャナと、メモリーカードを挿抜可能でかつ、メモリーカードから画像データを読み込み可能な手段と、ダイヤル等の操作を行う操作手段と、画像情報を通信回線を介して送受可能なデータに変調及び復調するモデムと、メモリーカードから読み取った画像データをファクシミリ送信可能なデータフォーマットへ変換する画像データフォーマット変換手段と、メモリーカードから読み取った画像データに対応する画像情報並びに通信回線を介して受信した画像データ並びに前記スキャナから読み取った画像を共に印刷可能なプリント手段とを備えたものである。

【 0 0 0 6 】

【発明の実施の形態】

本発明の請求項 1 に記載の発明は、原稿上の画像を入力するためのスキャナと、メモリーカードを挿抜可能でかつ、メモリーカードから画像データを読み込み可能な手段と、ダイヤル等の操作を行う操作手段と、画像情報を通信回線を介して送受可能なデータに変調及び復調するモデムと、メモリーカードから読み取った画像データをファクシミリ送信可能なデータフォーマットへ変換する画像データフォーマット変換手段と、メモリーカードから読み取った画像データに対応する画像情報並びに通信回線を介して受信した画像データ並びに前記スキャナから読み取った画像を共に印刷可能なプリント手段とを備えたものであり、例えばデジタルスチルカメラで撮影した画像をメモリーカードに格納しており、そのメモリーカードを本発明のファクシミリ装置に挿入して読み取り、相手にその画像をファクシミリ送信することができる。

【 0 0 0 7 】

本発明の請求項 2 に記載の発明は、原稿上の画像を入力するためのスキャナと、メモリーカードを挿抜可能でかつ、メモリーカードから画像データを読み込み可能な手段と、ダイヤル等の操作を行う操作手段と、画像情報を通信回線を介して送受可能なデータに変調及び復調するモデムと、画像データをファクシミリ送信可能なデータフォーマットへ変換する画像データフォーマット変換手段と、メモリーカードから読み取った複数の画像データに対応するサムネイル画像の一覧を印刷可能なプリント手段とを備えたものであり、デジタルスチルカメラ等で撮影

した複数枚の静止画像のサムネイル一覧をファクシミリ装置にプリント手段を使用してプリントアウトすることができる。

【 0 0 0 8 】

本発明の請求項 3 に記載の発明は、原稿上の画像を入力するためのスキャナと、メモリーカードを挿抜可能でかつ、メモリーカードから画像データを読み込み可能な手段と、ダイヤル等の操作を行う操作手段と、画像情報を通信回線を介して送受可能なデータに変調及び復調するモデムと、メモリーカードから読み取った画像データをファクシミリ送信可能なデータフォーマットへ変換する画像データフォーマット変換手段と、メモリーカードから読み取った画像データに対応する画像情報並びに通信回線を介して受信した画像データ並びに前記スキャナから読み取った画像を共に印刷可能なプリント手段と、メモリーカードから読み取った複数の画像データに対応するサムネイル画像を印刷動作に先立って表示可能なディスプレイ手段と、このディスプレイ手段に表示されたサムネイル画像を指定することでそのサムネイル画像に対応した画像を前記プリント手段を制御して印刷させるよう制御する制御手段を備えたものであり、ディスプレイに表示されたサムネイル画像を見て印刷する静止画像の選択を行うことができる。

【 0 0 0 9 】

本発明の請求項 4 に記載の発明は、画像データフォーマット変換手段は、デジタルスチルカメラにてメモリーカードに記憶された画像情報の対応するフォーマットを、ITU-T T. 81 規格に準拠したフォーマットに変換するものであることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 に記載のファクシミリ装置であり、ITU-T T. 81 規格に準拠したフォーマットに変換することで、ファクシミリメーカー各社に共通したファクシミリ装置、特にカラーファクシミリ装置が提供できる。

【 0 0 1 0 】

本発明の請求項 5 に記載の発明は、サムネイル画像の一覧を印刷した後、指定のサムネイル画像に対応した画像を印刷するモードと、サムネイル画像をディスプレイ手段に表示した後、サムネイル画像の一覧を印刷することなく指定のサムネイル画像に対応した画像を印刷するモードとを設定可能であることを特徴とす

る請求項 3 に記載のファクシミリ装置であるため、操作者の必要に応じてサムネイル画像一覧を印刷することができる。

【 0 0 1 1 】

本発明の請求項 6 に記載の発明は、画像データフォーマット変換手段は、デジタルスチルカメラにてメモリーカードに記憶された画像情報の対応するフォーマットを、ITU-T T. 81 規格に準拠したフォーマットに変換する機能と、デジタルスチルカメラにてメモリーカードに記憶された画像情報の対応するフォーマットを、MH（モディファイドハフマン）符号に変換する機能の双方を有し、操作者の操作により前記変換機能の何れかが選択可能であることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 に記載のファクシミリ装置であるため、メモリーカードに記憶されている画像がカラー画像の場合、その画像をカラーファックスするか、モノクロファックスするかが、操作者の希望により切り替えることができる。

【 0 0 1 2 】

本発明の請求項 7 に記載の発明は、メモリーカードは、SD（Secure Digital）メモリーカードであることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 に記載のファクシミリ装置であり、SDメモリーカードを用いたことにより、セキュリティの面で優れ、また、著作権問題に対しても十分に配慮されたファクシミリ装置が実現できる。

【 0 0 1 3 】

本発明の請求項 8 に記載の発明は、データフォーマット変換手段は、TIFF の J F I F フォーマットの J P E G 形式の画像データを、ITU-T T. 81 規格に準拠したフォーマットに変換するものであることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 に記載のファクシミリ装置であり、デジタルスチルカメラで多く採用されている TIFF の J F I F フォーマットの J P E G 形式の画像データをサポートすることにより、汎用性に富んだファクシミリ装置が提供できる。

【 0 0 1 4 】

（実施の形態）

以下、本発明の実施例を図面を参照して説明する。図 1 は、本発明の実施の形態に係るファクシミリ装置の斜視図、図 2 は同実施の形態に係るファクシミリ装置の構成を示すブロック図である。

【 0 0 1 5 】

図 1 において、1 はファクシミリ装置本体、2 は発呼のためのダイヤル等を行う操作部、3 は、当方よりファクシミリ送信する画像情報を、送信に先立って確認したり、受信した画像情報を印刷するに際して、その前にその画像のチェックをするための液晶ディスプレイ（以下 L C D と称する）、4 は通話を行うためのハンドセット、5 は S D (secure digital) メモリーカード 6 を挿入可能で、この S D メモリーカード 6 との間で画像情報のやり取りを行う S D カードリーダー・ライターである。この S D メモリーカード 6 は、世界の主要なソフト・コンテンツ会社から強く求められている著作権保護機能に対応した次世代のメモリーカードである。

【 0 0 1 6 】

図 2 において、2 1 は中央制御部であり、この中央制御部 2 1 はファクシミリ装置全体の動作プログラムを格納した R O M に基づく各種演算処理を行う C P U 並びに、この C P U との間でデータの送受を行う R A M を備えておりファクシミリ装置各部の動作を制御するものである。2 2 は通信インターフェースであり、図示していない電話回線と本ファクシミリ装置との間の接続や各種プロトコールデータのやりとりおよび画像データの送信と受信を行う。2 3 は相手ファクシミリ装置との間での画像データのやり取りに際し、変調／復調を行うモデム、2 4 は各種操作部であり、図 1 における操作部 2 及び液晶ディスプレイ 3 を含む。2 5 はスキャナであり、原稿画像を読み取るものであり、本実施の形態においてはカラーイメージセンサを用いている。2 6 は画像データフォーマット変換部であり、デジタルスチルカメラにおいて後述する S D メモリーカードに記憶する圧縮画像フォーマットである T I F F の J F I F フォーマットの J P E G 形式の画像データを、モノクロファクシミリ装置にて使用する画像データ形式である M H 符号化したり、カラーファクシミリ装置にて使用する I T U - T T. 8 1 規格に準拠したフォーマットに変換する。2 7 はプリント部であり、受信したファクシ

ミリ画像データ等をカラー印刷及びモノクロ印刷する。28はSDメモリーカード6との間で画像情報のやり取りを行うカードリーダー・ライターである。29は音声出力部であり、送られてくる音声データをD/A変換し増幅して出力するものであり、図1におけるハンドセット4を含むものである。

【0017】

以上のように構成された、ファクシミリ装置の動作について、図3の動作フローチャートを参照して説明する。

【0018】

まず、本ファクシミリ装置にて画像を受信する際の動作について説明する。

【0019】

画像受信する場合は、STEP1よりSTEP2へ移行し、受信した画像を図示していない装置内部の記憶装置（HDD或いはRAM）に記憶するとともに、その記憶した画像をLCD3に表示する。その後、STEP3にて、操作者が各種操作部24を操作することで、そのLCD3に表示されている画像をプリントアウトするか否かを指示する。

【0020】

プリントアウトする場合は、STEP4へ移行し、その印刷すべき画像がモノクロ画像かカラー画像かが判断され、カラー画像の場合はSTEP5にてプリント部27によりカラー印刷が行われ、一方、モノクロ画像の場合は、STEP6にてプリント部27によりモノクロ印刷が行われ、その後STEP29へ移行してEND処理される。なお、STEP3にて、プリントアウトしないが選択された場合は、STEP29へ移行してEND処理される。

【0021】

次に、送信処理について説明する。

【0022】

送信の場合は、STEP1よりSTEP7へ移行し、送信がSDメモリーカード6に記憶されているデジタルカメラにて撮影した画像を送信するのか、或いは、一般のファクシミリ装置のように原稿を送信するのかを、使用者が各種操作部24を操作することで設定する。

【 0 0 2 3 】

SDメモリーカード6からの送信ではない場合、STEP 8へ移行し、ファクシミリ装置本体1に原稿がセットされているか否かが判断される。

【 0 0 2 4 】

原稿がセットされていない場合は、STEP 10へ移行し、「原稿がセットされていません」などのメッセージをLCD 3に表示するなどのエラー処理が行われる。一方、原稿がセットされている場合は、STEP 9へ移行し、送信がカラー画像送信であるのかモノクロ画像送信であるのかが、使用者により各種操作部24より入力される。そして、カラー画像送信の場合は、STEP 11へ進む。このSTEP 11では、スキャナ25にて読み取られた原稿の画像は、画像データフォーマット変換部26にてカラーファクシミリの標準規格であるITU-T T. 81の規格に準拠したJPEGフォーマット形式の画像データに変換され、モデム23及び通信インターフェース22を介して相手側へ送信される（STEP 13）。また、モノクロ画像の場合は、MH符号等のデータに変換されてSTEP 13にて送信処理がなされる。

【 0 0 2 5 】

一方、STEP 7にてSDメモリーカードからの送信が設定された場合は、STEP 14へ移行し、中央制御部21はSDカードリーダー・ライター28を制御し、SDカード6に記憶されているデジタルカメラにて撮影された画像の一覧をサムネイル形式でLCD 3へ表示する（なお、本実施例ではサムネイル形式の画像をLCD 3へ表示したが、LCDへの表示でなく、プリント部27によって一旦プリントアウトしてもよい）。その後、使用者は、表示されているサムネイルより送信したい画像を指定するため、サムネイルと関連つけられているサムネイル番号を各種操作部24を操作することで入力する（STEP 15）。すると、指定された番号のサムネイル画像に対する詳細画像が、LCD 3へ表示される（STEP 16）。STEP 17では操作者は、この画像を見て、本当にこの画像を送信するか否かを決定し、送信する場合は、前述したSTEP 9へ移行する。また、送信しない場合は、再度STEP 14へ戻ってサムネイル表示を行う。（なお、図3のフローチャートには特別図示はしていないが、どのステップからであっ

ても、エスケイプ処理は実行可能であり、このエスケイプ処理が実行されると、STEP 29へ移行する。)

次に、プリントのモードについて説明する。

【0026】

この場合、STEP 1よりSTEP 18に移行し、このSTEP 18では、SDメモリーカード6からの画像印刷なのか、原稿のコピーなのかが、操作者による各種操作部24の入力によって判断される。原稿コピーのモードが指示された場合は、STEP 18よりSTEP 19へ移行して、ファクシミリ装置本体1に原稿がセットされているか否かが判断される。原稿がセットされていない場合は、STEP 10へ移行してエラー処理が行われる。また、原稿がセットされている場合は、STEP 20へ移行する。このSTEP 20にて操作者により各種操作部24の操作によってプリント釦が押下されると、STEP 21へ移行して、スキャナ25によって原稿のスキャンが行われると共に、プリント部27によるコピー印刷が実行される。

【0027】

一方、STEP 18でSDメモリーカード6に記憶されているデジタルカメラで撮影した画像のプリントアウトが指示されると、STEP 22へ移行し、ファクシミリ装置本体1のSDカードリーダー・ライタ28(図1においてはSDカードリーダー・ライタ5)にSDメモリーカード6が挿入されているか否かが判断される。SDメモリーカード6が挿入されていなければ、STEP 24へ移行して、「SDメモリーカードを挿入してください」などのメッセージをLCD3に表示するなどのエラー処理を行う。一方、SDメモリーカード6が挿入されている場合は、その複数の画像のサムネイル表示がLCD3上に行われる。操作者はこのサムネイル一覧をプリントアウトする場合は、その旨を指示する操作を各種操作部24により行い、また、サムネイル一覧のプリントアウトが必要ない場合は、印刷したい画像のサムネイル番号を入力する。サムネイル一覧をプリントアウトすると指示された場合はSTEP 26に移行してサムネイル印刷がなされ、STEP 27へ移行して、印刷したい画像に対応したサムネイル番号の入力を待つ。STEP 27にて操作者によって印刷したい画像のサムネイル番号が入力され

ると、その番号に対応する詳細画像がプリント部 2 7 によってプリントされる（STEP 2 8）。また、印刷を中止する場合は、STEP 2 7 にて 9 9 を入力すると STEP 2 9 へ移行して END 処理となる。

【 0 0 2 8 】

【発明の効果】

次に、本発明のファクシミリ装置の効果について説明する。

【 0 0 2 9 】

本発明のファクシミリ装置によれば、デジタルスチルカメラにて撮影された画像をメモリーカードによってファクシミリ装置本体へ取り込んで相手先に送信することができ、写真をプリントアウトしてその後そのプリントアウトされた写真をスキャナで読み取って送信するより、高画質の映像が相手先に送られることとなる。

【 0 0 3 0 】

また、メモリーカードとして、SDメモリーカードを使用したため、セキュリティの面で優れ、また、著作権問題に対しても十分に配慮されたファクシミリ装置が実現できる。

【 0 0 3 1 】

また、デジタルスチルカメラにてメモリーカード内に記録される画像のフォーマット形式と、カラーファクシミリ装置にて相手に対して送出されるカラー画像データのフォーマット形式を変換する画像データフォーマット変換部を備えたことで、このデータフォーマット変換をわざわざ別途用意したパーソナルコンピュータなどによって行う必要がなく、使用勝手に優れたファクシミリ装置が提供できる。

【 0 0 3 2 】

さらに、LCD上にメモリーカードに記憶されているデジタルスチルカメラで撮影した画像のサムネイルを一旦表示させ、その表示に基づいて、実際に印刷する画像を選択させるようにしたので、所望の画像のみ印刷することが可能となり、印刷用紙や印刷インクなどの無駄が防止できる。

【 0 0 3 3 】

さらに、LCD上にメモリーカードに記憶されているデジタルスチルカメラで撮影した画像のサムネイルを一旦表示させ、その表示に基づいて、実際にファクシミリ送信する画像を選択させるようにしたので、送信に際し、サムネイル一覧を印刷して確認する必要性が低くなり、印刷用紙や印刷インクなどの無駄が防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施の形態に係るファクシミリ装置の外観を示す斜視図

【図 2】

本発明の実施の形態に係るファクシミリ装置の構成を示すブロック図

【図 3】

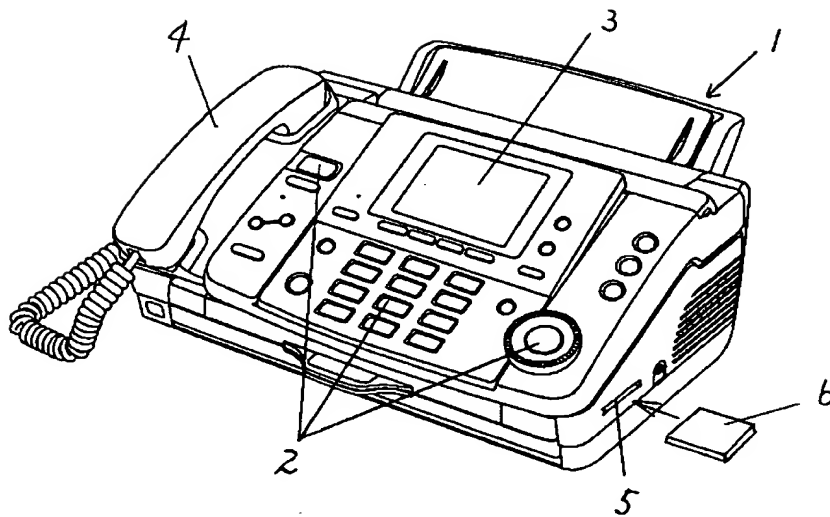
本発明の実施の形態に係るファクシミリ装置の処理の流れを示すフローチャート

【符号の説明】

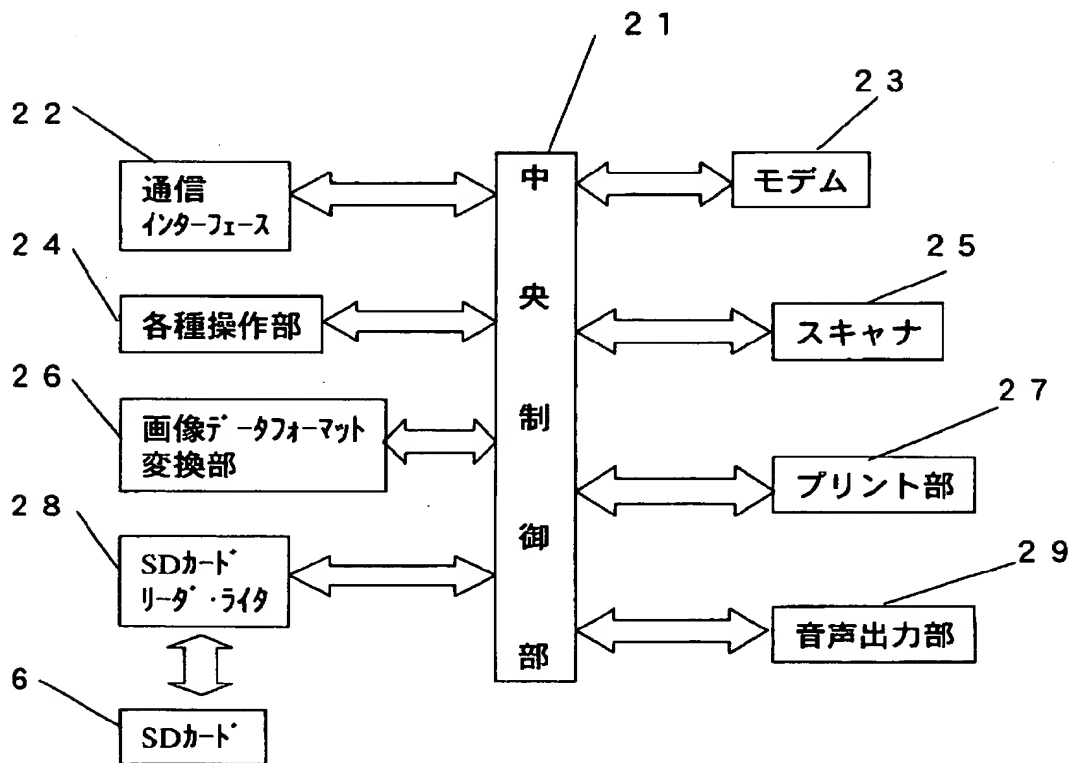
- 1 ファクシミリ装置本体
- 2 操作部
- 3 液晶ディスプレイ
- 4 ハンドセット
- 5 SDカードリーダー・ライター
- 6 SDメモリーカード
- 21 中央制御部
- 22 通信インターフェース
- 23 モデム
- 24 各種操作部
- 25 スキャナ
- 26 画像データフォーマット変換部
- 27 プリント部
- 28 SDカードリーダー・ライター
- 29 音声出力部

【書類名】 図面

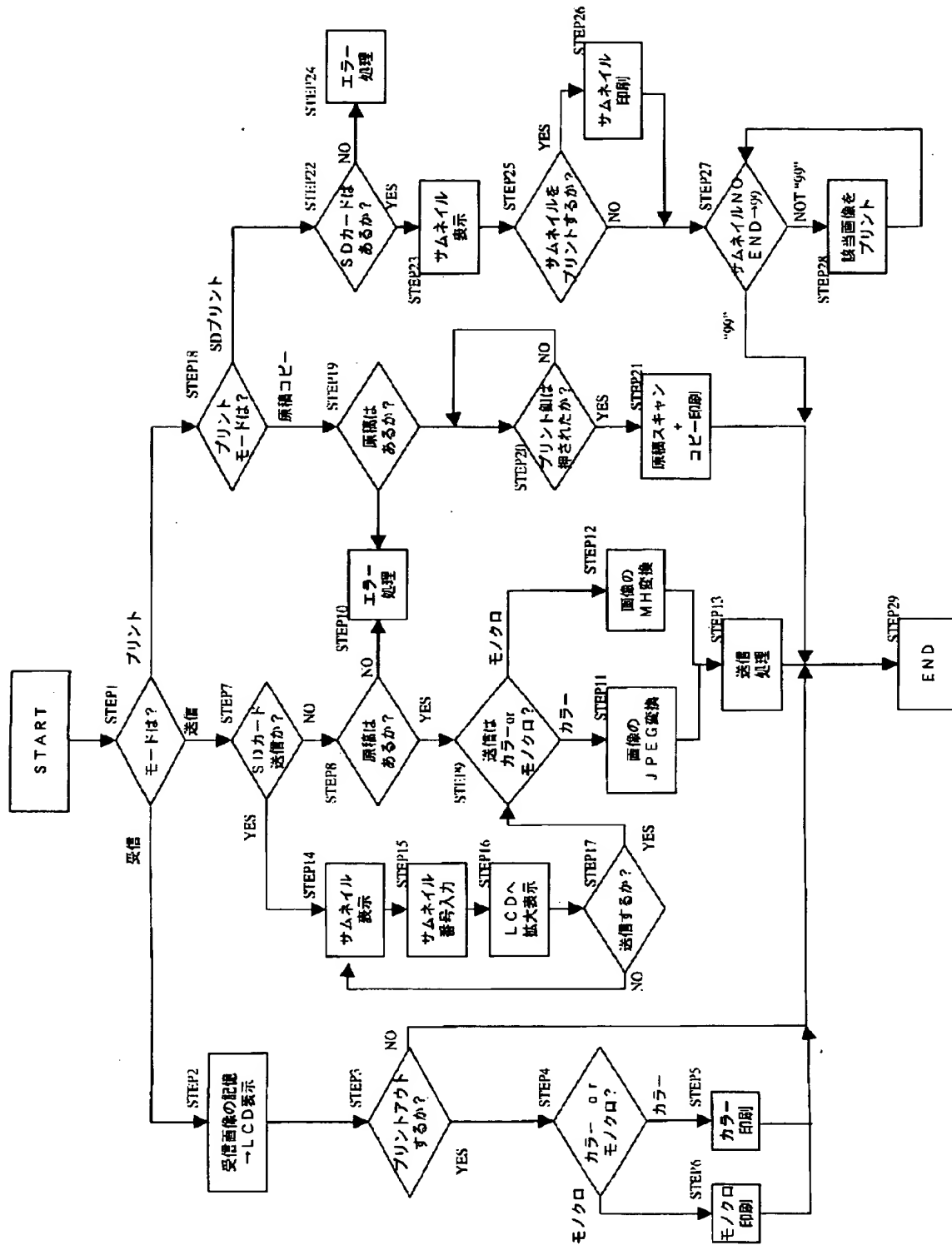
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 デジタルスチルカメラで撮影した静止画像を良好な画質にてファクシミリ送信することのできるファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】 デジタルスチルカメラで撮影されSDメモリーカード6に記憶された静止画像を取り込むSDカードリーダー・ライタ28と、このSDカードリーダー・ライタ28にて取り込まれた画像データをモノクロファクシミリ信号或いはカラーファクシミリ信号に変換する画像データフォーマット変換部26と、変換された画像データを通常のカラファクシミリ送信手順或いはモノクロファクシミリ送信手順にて送信する手段を有する。

【選択図】 図2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 5 8 2 1]

1. 変更年月日 1 9 9 0 年 8 月 2 8 日
[変更理由] 新規登録
住 所 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地
氏 名 松下電器産業株式会社